

シューベルティアアーデ 2016



F.シューベルト 交響曲第7番「未完成」ロ短調D759
F.シューベルト ミサ曲第6番変ホ長調D950
Sinfonie Nr. 7 in h moll D759 "Die Unvollendete"
Missa Nr.6 in es moll D950

類稀な才能の持ち主でありながら出版社に認められず苦難の道を行んだ
フランツ・シューベルト(1797~1829)晩年の集大成

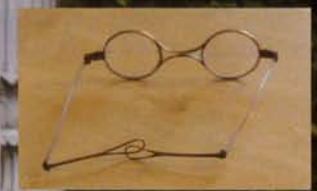


指揮 米津 俊広

合唱 混声合唱団コール・ミレニアム
管弦楽 シューベルティアアーデ管弦楽団
合唱指揮 和田 茂士



ウィーンにあるシューベルトの生家



生家に残されるシューベルトの眼鏡



ソプラノ 佐々木 典子



メゾソプラノ 菅 有美子



混声合唱団
コール・ミレニアム



テノールI 大槻 孝志



テノールII 廣田 亮



バリトン 大沼 徹

2016年 7月9日(土) 14時開演 13時ロビー開場

東京芸術劇場コンサートホール



全席指定 S席 ¥3,000 A席 ¥2,500 B席 ¥2,000
チケットお取り扱い チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード293-587
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)
小学生未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
お問い合わせ chor-millennium@jcom.home.ne.jp tel/fax 03-5932-4012
HP <http://members3.jcom.home.ne.jp/chor-millennium/>

【住所】 東京都豊島区西池袋1-8-1
【電話】 03-5391-2111(代)
【劇場への交通案内】
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
池袋駅西口より徒歩2分
(駅地下通路2b出口と直結)

プロフィール

米津 俊広 YONETSU Toshihiro, Conductor

1972年愛知県生まれ。東京音楽大学にて指揮を広く上淳一、紙谷一衛各氏に師事。東京音楽大学在学中より指揮活動を開始。日本各地のオーケストラ、オペラ等の客演を重ね、2006年9月、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督ジョージ・ペリヴァニアン氏の推薦により、アシスタントコンダクターとして2009年9月まで同管弦楽団にて研鑽を積んだ。2006年11月、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「モーツァルトプログラム」を指揮してデビュー。その後同オーケストラの客演を重ね、2007年10月には、急病のミラン・ホルヴァート氏の代役として急遽抜擢され定期演奏会に登場した。またこれまでにリエカ・フィルハーモニー管弦楽団(クロアチア)、リュブリャナ音楽アカデミー管弦楽団(スロヴェニア)、サラエボ・フィルハーモニー管弦楽団、スロヴェニア国立放送交響楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、オルテナ・フィルハーモニー管弦楽団(ルーマニア)、日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、浜松フィルハーモニー管弦楽団などに客演している。

v2008年9月、第28回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクール(ヴェネツィア)の指揮部門にて、最高位並びにブルーノ・ワルター賞(Best Conductor & Bruno Walter Prize)を受賞。2009年10月にはイタリア、トリエステで行われた、「第1回ヴィクトル・デ・サバタ国際指揮者コンクール」にてファイナリスト3名に選ばれた。現在東京音楽大学指揮科助手。平成19年度、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。

佐々木 典子 SASAKI Noriko, Soprano

武蔵野音楽大学卒業後、ザルツブルクのモーツァルトウム芸術大学オペラ科を首席で修了。その後、ウィーン国立歌劇場オペラ研修所を経て、同歌劇場にソリストとして本契約する。ウィーン国立歌劇日本公演、夏期並びに復活祭のザルツブルク音楽祭のオペラ公演に出演。ウィーンを始めヨーロッパ各地の劇場で数多く出演の他、マラー「交響曲4番」、「子供の不思議な角笛」、オネゲル「火刑台のジャンヌ・ダルク」、シュトラウス「四つの最後の歌」など、コンサートにも、多数出演。帰国後は、二期会、数々の団体で、「魔笛」パミーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオリディージ、「真夏の夜の夢」ヘレナ、「こうもり」ロザリンデ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」エファ、「タンホイザー」エリザベートなど、主役には不可欠な存在としてその地位を確立。また特に、R・シュトラウスの作品は、重要な位置をしめ、「ばらの騎士」元帥夫人、「ダナエの愛」ダナエ、「ダフネ」ダフネ、「ナクソス島のアリアドネ」プリマドンナ、アリアドネ、「カプリッチョ」伯爵令嬢、など多数出演し、卓越した音楽性と表現力は、世界的巨匠をはじめとする共演者からも常に尊敬と信頼の対象とされている。NHKニューイヤーコンサート、NHKクラシック倶楽部等の出演。CDオールR・シュトラウスのプログラム「四つの最後の歌」。熊本市女性賞、第2回ホテルオーケラ音楽賞受賞。東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞受賞東京芸術大学音楽学部教授。東京二期会会員。

菅 有実子 KAN Yumiko, Mezzo Soprano

東京芸術大学卒業、同大学院修了。第62回日本音楽コンクール第2位入賞。第26回日伊声楽コンクール入選。東京二期会や新国立劇場公演を主に「フィガロの結婚」ケルビーノ、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「ばらの騎士」オクタヴィアン役を好演、同役でNHKニューイヤーオペラコンサートに出演。その他「カルメン」タイトルロール、「真夏の夜の夢」オベロン、「アルジェのイタリア女」イザベラ、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベツァ、「フィレンツェの悲劇」ピアンカ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ、ローラ、またR・シュトラウス、ワーグナー等のオペラ作品にも数多く出演。またN響定期「エレクトラ」、新日本フィル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」、東京フィル・オペラコンチェルトアンテシリーズ等の演奏会にも度々出演している。宗教曲ではモーツァルト、ヴェルディ「レクイエム」、バッハ「クリスマスオラトリオ」受難曲「ミサ曲」、またベートーヴェン「第九」、マラー「千人の交響曲」「復活」「大地の歌」などのソリストとして、オーケストラとの共演は枚挙に暇がない。東京音楽大学教授、フェリス女学院大学講師、二期会会員。

大槻 孝志 OTSUKI Takashi, Tenor I

東京芸術大学卒業、同大学院独唱科修了。ドイツ及びイタリア留学を経て、東京二期会『エフゲニー・オネーギン』レンスキーで一躍脚光を浴び、新国立劇場では『こうもり』アルフレード、『愛の妙薬』ネモリーノ、『夕鶴』与ひょうなどの出演に加え、外国人キャストのカヴァー歌手としても、これまでに20演目以上の作品に携わる。SKF松本・日生劇場・びわ湖・神奈川オペラに於いても、それぞれ『スペードの女王』『夕鶴』『オテロ』など、数多くの公演に出演し続けている。N響「第九」では急遽外国人歌手の代役で登場し絶賛され、近年では都響「第九」、仙台フィル「エアリア」、ウィーン楽友協会合唱団モーツァルト「レクイエム」などに出演し、宗教曲のソリストとしても高い評価を受け、その琴線に触れる力強い美声と堅実な役作りや歌唱は、小澤征爾を始め国内外の指揮者やオケから多くの信頼を得ている。2016年11月日生劇場『後宮からの逃走』ペドリコ役で出演予定。東邦音楽大学／愛知県立芸術大学各講師。IL DEVOUメンバー。二期会会員。

廣田 亮 HIROTA Ryo, Tenor II

千葉県出身。東邦音楽大学声楽科を首席で卒業。同大学院1年次在籍中。これまでに声楽を大槻孝志氏に師事。14歳から合唱を始め、中学、高校と数多くのコンクール全国大会に出場。東邦音楽大学在学中、第7回東京国際声楽コンクール本選「大学生部門」1位なし第4位。東邦音大に於いても成績優秀者として学内演奏会、第187回定期研究発表会、第10回トライアルコンサート(学内オーケストラと共演)等、数多くのコンサートに出演。

大沼 徹 ONUMA Toru, Baritone

東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業、同大学院修了。大学院在学中、東海大学海外派遣留学生としてベルリン・フンボルト大学へ留学。ハルトムート・クレッチュマン、クローズ・ヘーガーに師事。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了。修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。第71回読売新人演奏会出演。第17回日本声楽コンクール第3位。第75回日本音楽コンクール(歌曲部門)入選。第7回藤沢オペラコンクール奨励賞。2009年第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第1位受賞。これまでオペラでは『ラ・ボエーム』、『カルメン』、『魔笛』、『セビリアの理髪師』、『ヘンゼルとグレーテル』等出演、二期会ニューエープオペラ『ウリッセの帰還』ウリッセ役に主演しデビュー。同、『オテロ』イアーゴ役、『魔笛』でもパバゲーノに抜擢される。NHKFM名曲リサイタルに出演。第21回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。昨秋よりドイツ・マイセンへ留学。2013年新国立劇場『魔笛』弁者に続き、東京二期会『ホフマン物語』では、絶賛を浴びた。同11月、日生劇場『フィデリオ』ドン・フェルナンドでも好評を博す。2016年10月東京二期会公演、R・シュトラウス作曲「ダナエの愛」ユピテル役にて出演予定。シューベルト「冬の旅」等のドイツリートなどでも高い評価を得ており、目覚ましい活躍で注目を集めるバリトンの逸材。二期会、日本声楽発声学会々員、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。

シューベルティアオーデ管弦楽団 Orchestra Schubertiade2016

シューベルトの管弦楽曲を深い理解と心を持って演奏するオーケストラとして結成される。コンサートミストレスに東京ニューシュティールフィルハーモニー管弦楽団員の剣持由紀子氏を置き、主なメンバーはアマデウス・ツサイエティ管弦楽団員により構成されている。アマデウス・ツサイエティ管弦楽団は、1991年に慶應義塾ワグネル・ツサイエティ・オーケストラの卒業生を中心として設立され、現在は多方面からも仲間を迎え、より活発な演奏活動を行っている。

混声合唱団コール・ミレニアム Chor Millennium, chorus

2001年ポーランド国立放送交響楽団とモーツァルトのレクイエムを共演したメンバーを中心に2002年に結成。記念すべき千年紀を超える時代に誕生したという意味でネーミングされ、オーケストラを伴う宗教合唱音楽を主に演奏活動を行なっている。第1回定期演奏会より、音楽監督兼首席指揮者として故小松一彦氏に、2010年からは黒岩英臣氏、荒谷俊治氏、内藤彰氏、山下一史氏の指揮により演奏会を行う。合唱指揮として和田茂士氏、下村郁哉氏、泉智之氏が就任し、ヴォイストレーナーのカも得て実力を伸ばしてきた。これまでの定演は、モーツァルト・レクイエム、フォーレ・レクイエム、ヘンデル・メサイア、ヴェルディ・レクイエム、ブラームス・ドイツレクイエム、プーランク・スターバトマーテル、メンデルスゾーン「賛歌」の他、中央大学管弦楽団、EMQとの第九演奏会を行う。海外では2006年4月プラハのスメタナホール、2007年コンサートヘボウ、2009年5月にウィーン・カールス教会モーツァルト・ミサ曲ハ短調、2011年1月にはパリ・マドレーヌ寺院でのフォーレ・レクイエム、2015年12月モーツァルトの命日にウィーン聖シュテファン大聖堂にてモーツァルト・レクイエムを演奏するなど、画期的で且つ魅力有るプログラムを展開している。